

株式会社遠野テレビ 経営改革検討資料

— 遠野テレビの加入状況の推移と社会変動からの予測 —

「テレビ から ネットへ」

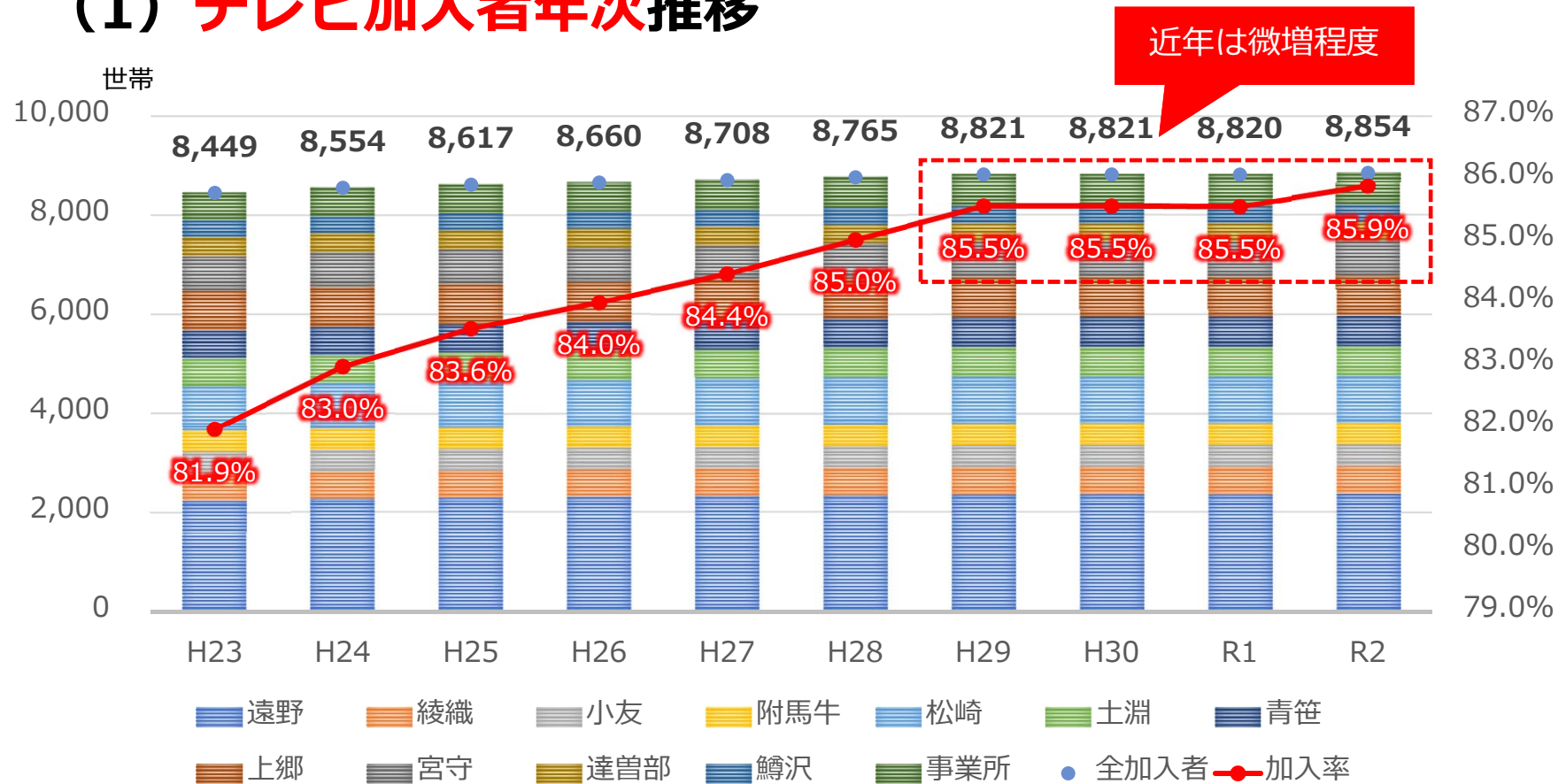
目次

1	現状分析（遠野テレビ加入者）	2
2	" （遠野テレビ）	7
3	将来予測（遠野テレビ使用料）	8

遠野市情報連携推進課

現状分析【遠野テレビ加入者】

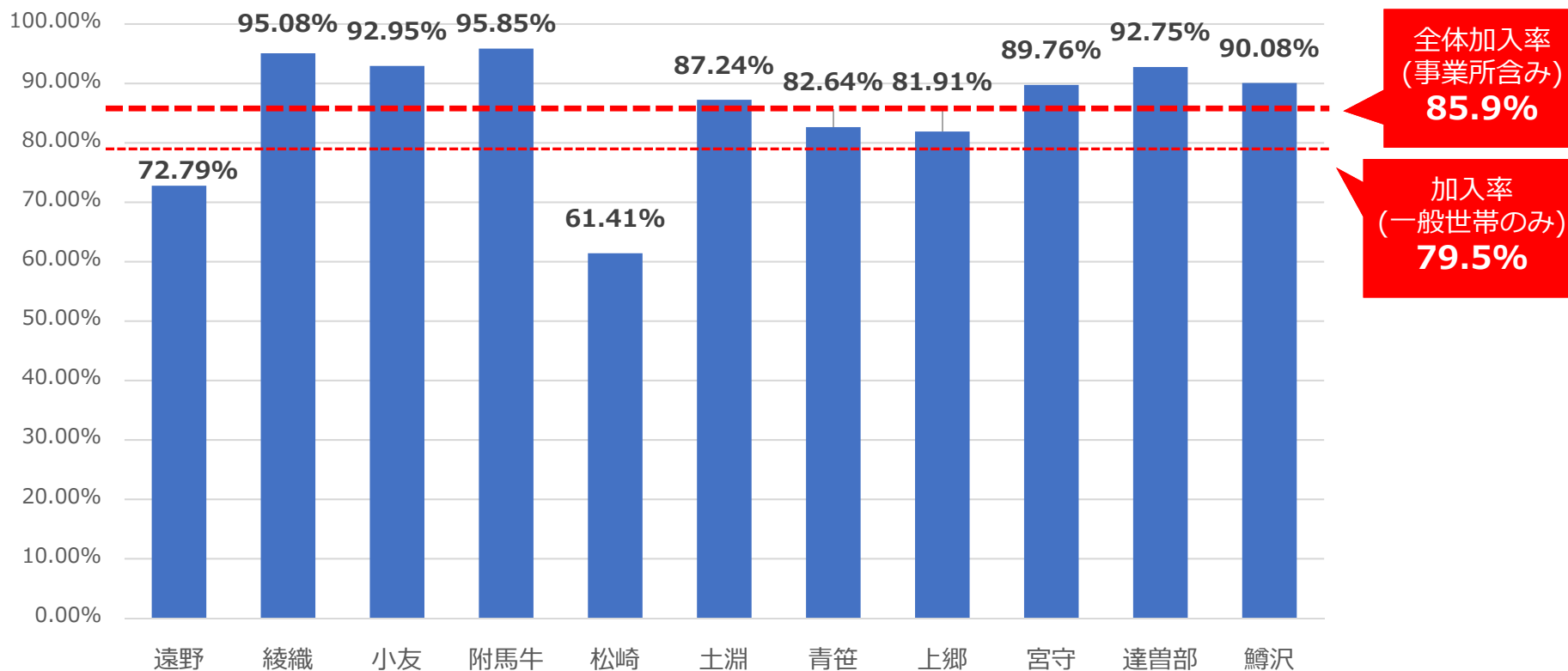
(1) テレビ加入者年次推移



平成28年度頃まで加入率は増加基調で推移してきたが、**近年は微増程度。**

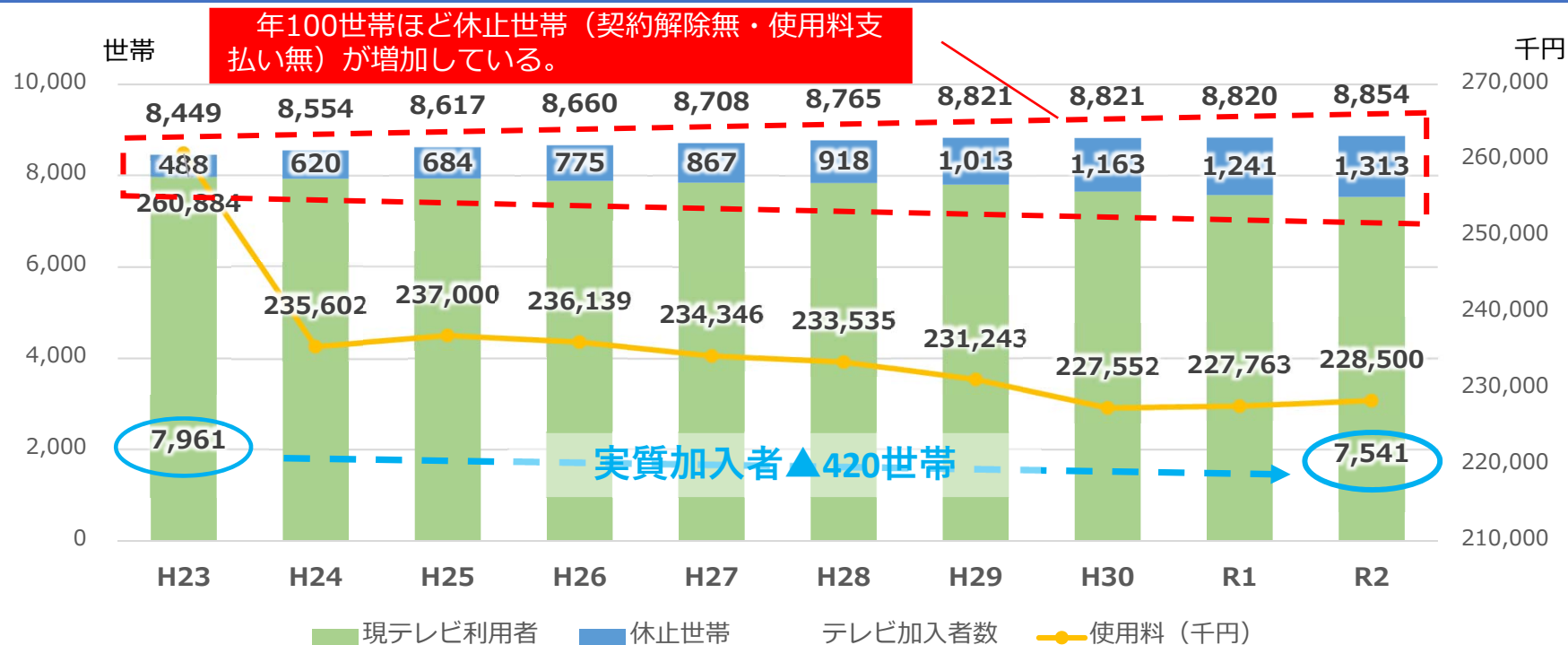
今後、加入率を大きく増加させることは難しい。

(2) 町別テレビ加入率 (R3.3末現在)



- ・ 令和2年度末の**全体加入率 (事業所含み)** は85.9%。一般世帯のみでは**79.5%**となっている。
- ・ TVの視聴条件の良い**松崎町の加入率は、平均を大きく下回っている。**

(3) テレビ利用世帯数・使用料年次推移

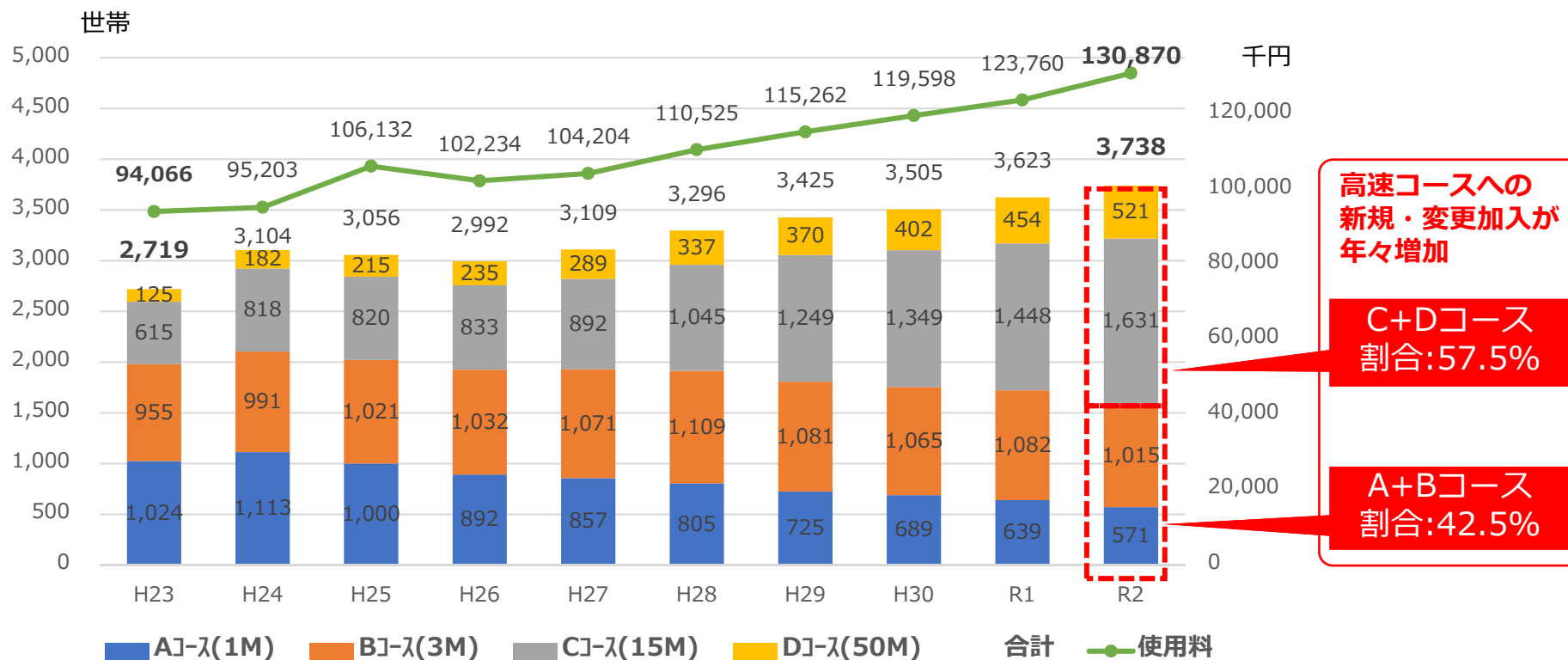


加入率 ≠ 利用者（視聴世帯）

- ・ **休止世帯は年100世帯程度増加**。休止者を除いた**実質加入者はH23をピークに減少**
 (R2・H23比較▲420世帯)
- ・ 使用料も減額基調であったが、4K放送対応機器への加入変更などから、**現在の使用料総額は横ばいで推移**

休止世帯の多くは、休止のままとしているケースが多く、実質的に解約に等しい。「休止世帯」の発生は、高齢者世帯の増加に比例する形で増加すると見込まれる。

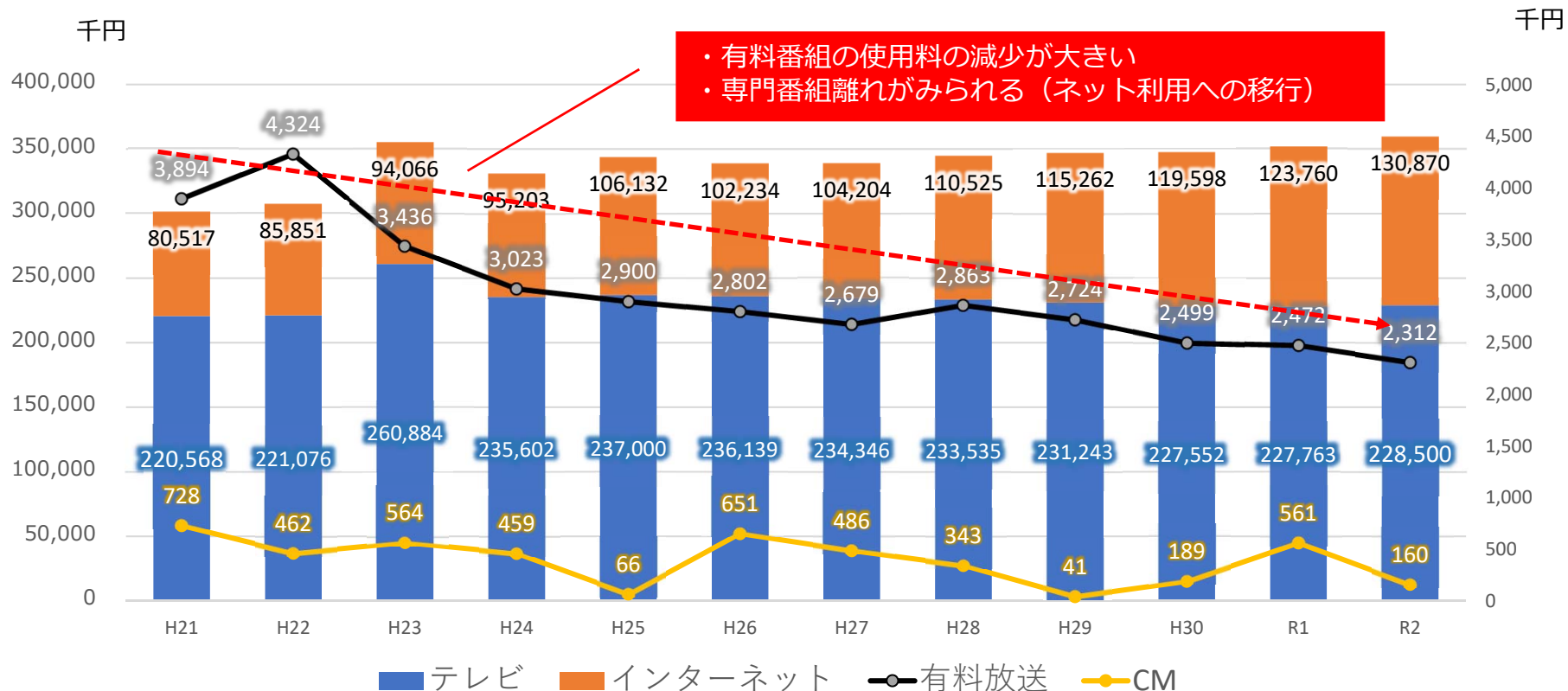
(4) インターネットコース別加入世帯数・使用料年次推移



- 平成27年度から、**ネット加入者は年100世帯前後増加**している。**R2は特に増加が多い。**
- 動画の安定視聴を目的とした**高速コースへのプラン変更 (A→Cコースなど)**が多くなっており、**使用料の増収につながっている。**

インターネットの加入申し込み、高速コースへの移行は堅調に推移している。FTTH化によって、遠野テレビインターネット環境が高速化されるイメージとなることから、今後、当面の間、インターネット加入者の増、コース変更者の増が期待される。

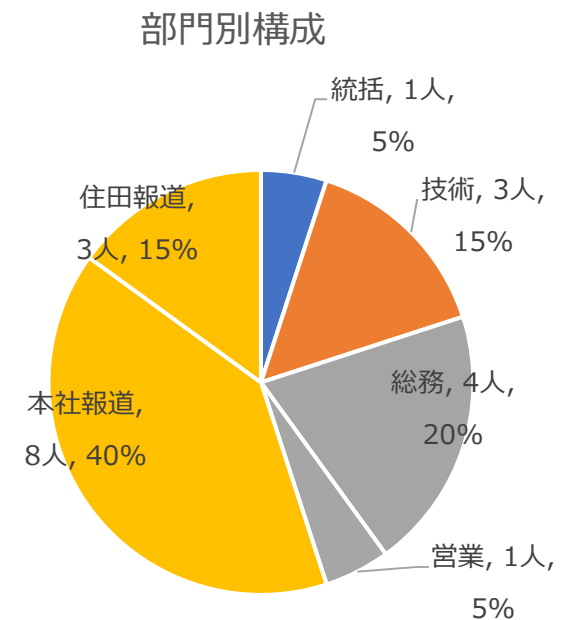
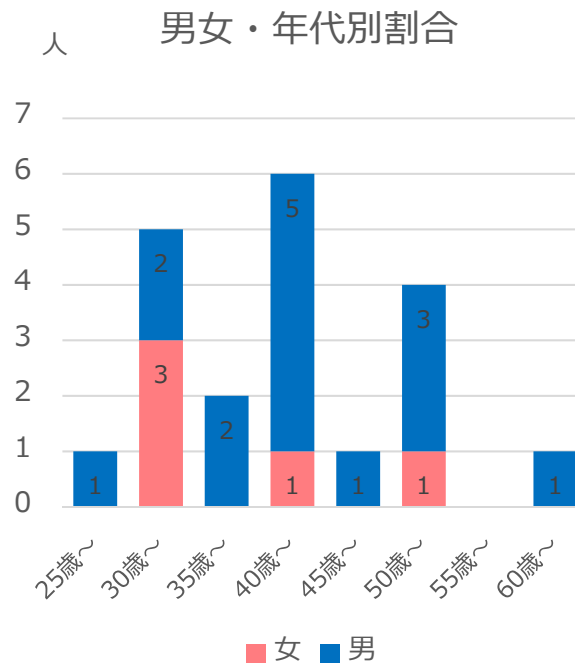
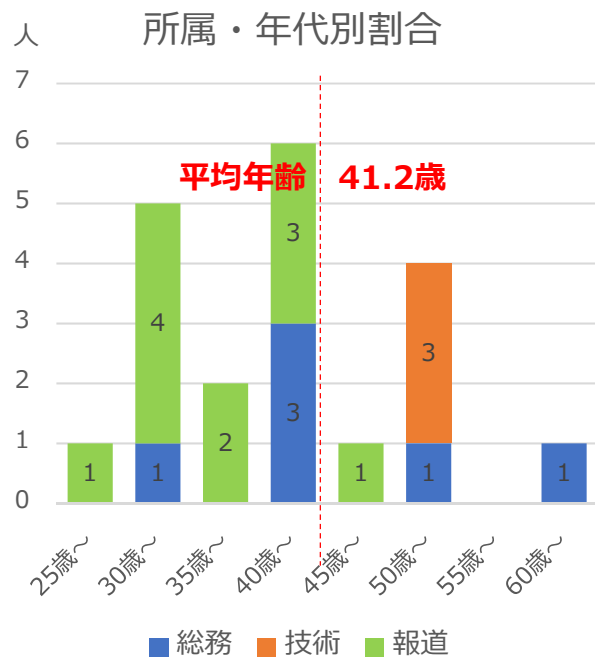
(5) 使用料年次推移 (TVとネットの合計)



- ・ **H23をピークにTV使用料は減少。インターネット使用料は年々増加**
- ・ **有料番組使用料は10年で約半分まで減少。ネット利用への移行と推測**
- ・ **遠野テレビCMは全体的に利用が少ない。**

- ・ TV使用料の減少分をインターネット使用料が補う形で、当面使用料総額は増加していくと見込まれる。
- ・ ネット需要に併せた有料番組のあり方の検討、TVCMの拡大が必要である。

(1) 遠野テレビ常勤職員構成



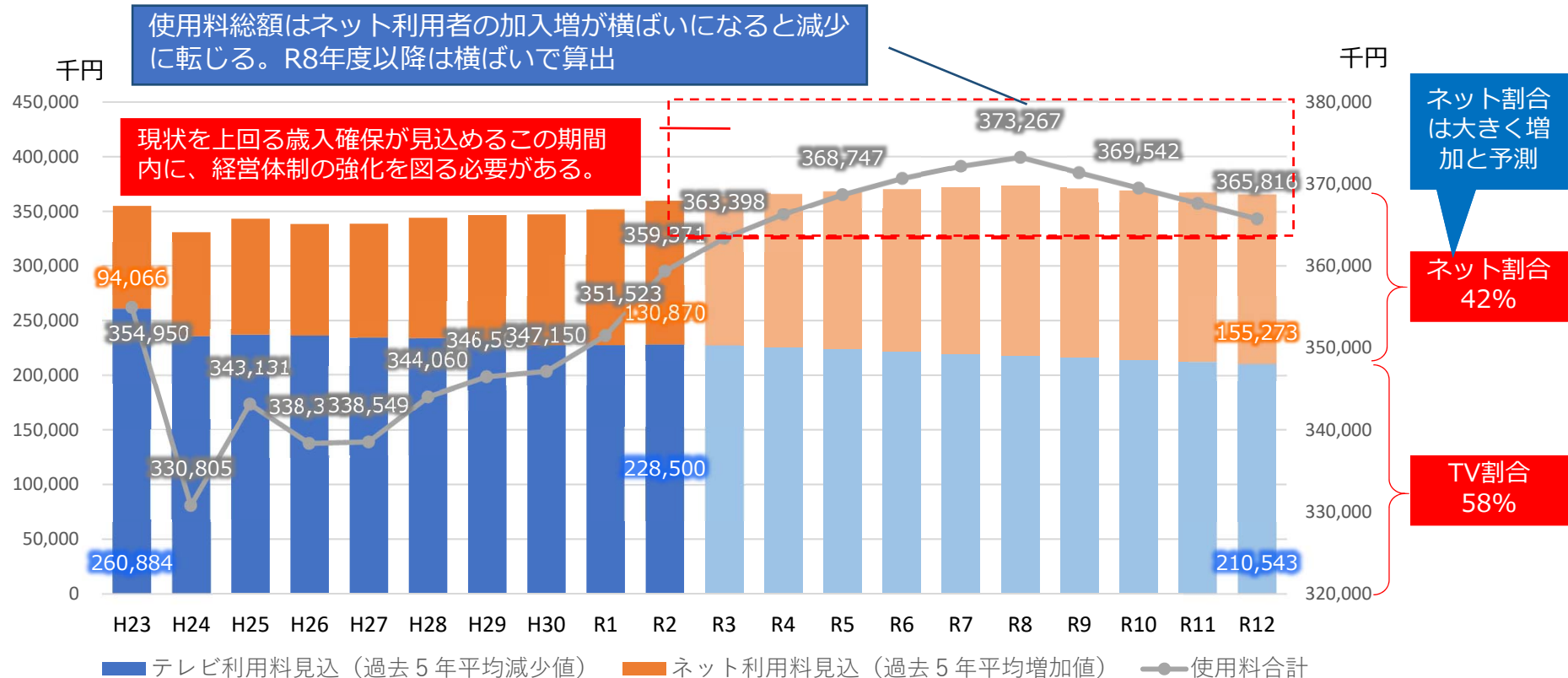
- ・ 職員構成については、報道の占める割合が多い。
- ・ 技術職員は3人で、年代も50歳代に集中している。

・ 職員体制は、インターネット需要の増加に併せた構築が必要である。

将来予測【遠野テレビ使用料】

(1) 年度別・コース別使用料推移予測

- ・テレビ利用者は、過去5年平均値（▲61世帯/年）を毎年度減少数と仮定（R3~R12）
- ・インターネット利用者は、過去5年平均値（110世帯/年）に対し、毎年度増加数が▲10世帯（R3~R7まで。R8からは±0で算出）とし、増加世帯が鈍くなると仮定



新規ネット利用申込者数の増加、高速回線への加入変更により、**TV利用者の今後の減少分を加味しても使用料の増加が見込めるが、ネット加入が横ばいになる段階から減少に転じる。10年後に同額程度まで落ち込むと見込まれる。**